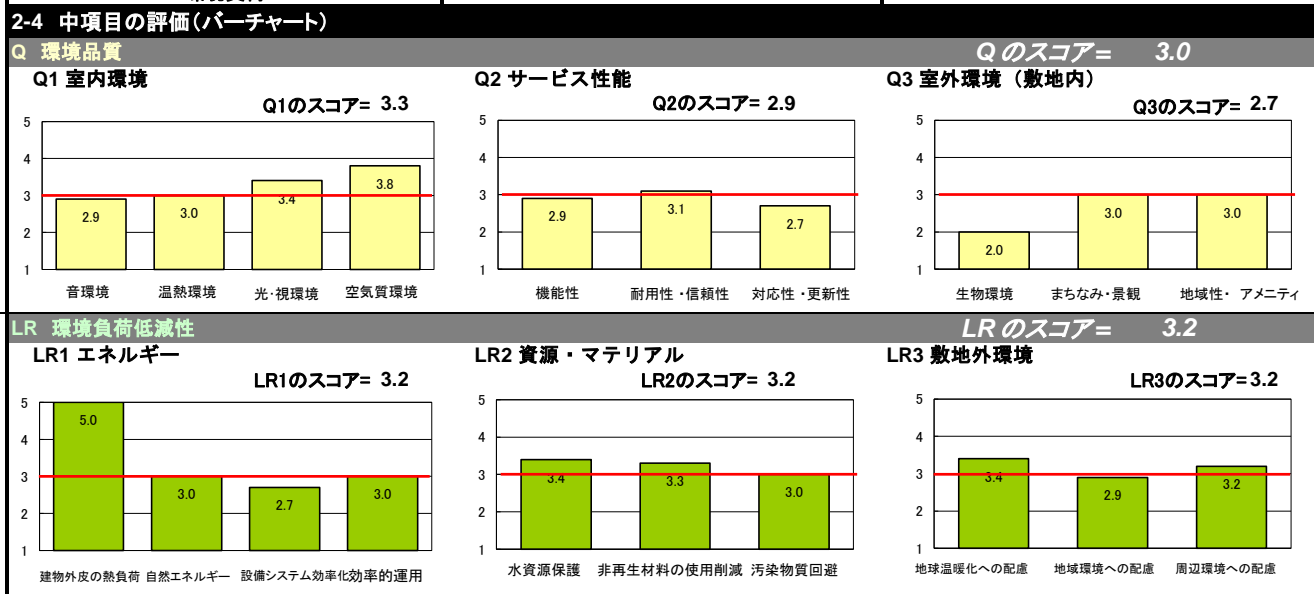
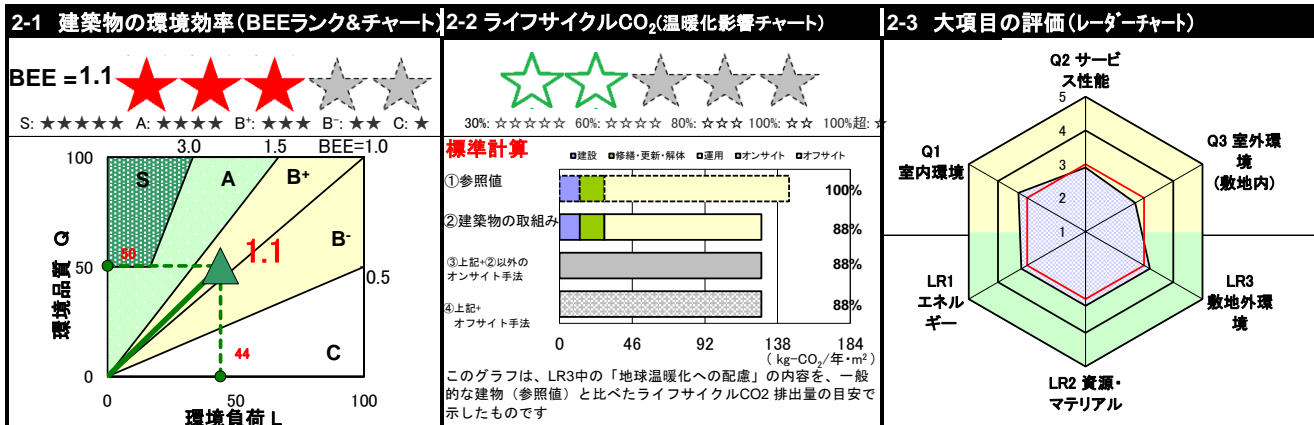


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム彩苑新築工事	階数	地上5F
建設地	神奈川県海老名市粕ヶ谷字瀬ノ本287-1、289-2、289-4、291-2、301-5	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年8月1日
敷地面積	4,161 m ²	作成者	㈱奥野設計
建築面積	1,780 m ²	確認日	
延床面積	5,283 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>潜熱回収型給湯器、LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部遮音性能T-2とし、高い採光性と底による屋光制御で、室内環境の快適性に考慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策のチェックリストの過半を満たすことにより、光害の抑制に努めた。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される